16

# 能装束

能楽で着用される装束は、代々能楽を庇護 した大名家が作り下賜したものを源流とす る。能が極めて盛んな佐渡出身の岡崎家は、 明治時代に小樽に移住し、全く伝統のない 北海道に能を根付かせようとした。装束も 岡崎謙が自ら創意工夫し、作り上げ着用し た品々である。



## 能面作家 外沢照章作 小面(花)

女面のなかで一番年若 く、十五、六歳の処女的 な清純な美しさを表現 した面。

東京都出身の外沢照章 は42歳から面を打ち始 め、現在まで 100 点に 及ぶ能面を打つ。平成 15 年小樽に移住し、旧 岡崎家能舞台とともに ある公会堂で毎年個展 を継続している。

## の能樂

2022年5月14日 (土) ~7月10日 (目)

**開館時間** 9:30~17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日:毎週月曜日

会 場:市立小樽美術館2階企画展示室 お問い合せ:市立小樽美術館 0134-34-0035

観覧料:一般 700(560)円·市内高齢者、高校生 350(280)円

小中学生無料 ()内は20名様以上の団体料金

### 旧岡崎家能舞台

大正 15 年、小樽の商 人岡崎謙が、入船の自 邸の中庭に見所とと もに創建し、没後、岡 崎家から舞台部分を 切り離して小樽市に 譲られ、昭和 36 年に 旧小樽区公会堂とと もに小樽公園内に移 築された。





## ✔ 市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市色内 1 丁目 9 番 5 号 電話 0134-34-0035

■共催: 旧岡崎家能舞台を生かす会 ■協力: 小樽市公会堂

■後援:北海道職業能力開発大学校、市立小樽美術館協力会

小樽商工会議所、一般社団法人小樽観光協会

